

# 安全データシート

作成日 2006年 7月 1日

改訂日 2022年 5月 9日

## 1.製品及び会社情報

製品名： サンデックスJET 主材

会社名： オバナヤ・セメントテックス株式会社

住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339

電話番号： 0594-72-6488

FAX番号： 0594-72-6253

担当部門： 製造部 工場管理課

整理番号： M1107

## 2.危険有害性の要約

### GHS分類

急性毒性 経口：	分類できない
急性毒性 経皮：	分類できない
急性毒性 吸入(ガス)：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(蒸気)：	分類できない
急性毒性 吸入(粉塵、ミスト)：	分類できない
皮膚腐食性／刺激性：	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分2
呼吸器感作性：	分類できない
皮膚感作性：	分類できない
生殖細胞変異原性：	分類できない
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)：	区分2
誤えん有害性：	区分に該当しない
水生環境有害性 短期(急性)：	区分3
水生環境有害性 長期(慢性)：	区分3
オゾン層への有害性：	分類できない

### GHSラベル要素



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 強い眼刺激

長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き： 《安全対策》

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

保護眼鏡／保護面を着用すること。

《応急措置》

眼に入った場合、水で15分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

取扱い後は、手をよく洗うこと。

気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けること。

## 《保管》

施錠して保管すること。

## 《廃棄》

内容物や容器を国際／国／都道府県／市町村の規制に従って廃棄すること。

## GHS分類に該当しない他の危険有害性

有害性： 眼に入ると刺激がある。継続的な皮膚接触により炎症を起こす場合がある。  
環境影響： 河川・湖沼等に流入すると広範囲にわたり汚濁させる。

## 3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

化学名又は一般名：ゴムアスファルト系塗膜防水材

成分及び含有量：

成分名	含有量	化審法	CASNo.	安衛法
鉱油(石油アスファルト)	55 ～ 65%	9-1720	8052-42-4	12-189
スチレン・ブタジエン共重合体	15 ～ 25%	非公開	非公開	非公開
水等	10 ～ 20%	非公開	非公開	非公開

法規制対象成分：

成分名	安衛法	P R T R 法
鉱油(石油アスファルト)	通知対象物(168)	指定化学物質に該当しない
スチレン・ブタジエン共重合体	表示対象物／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない
水等	表示対象物／通知対象物に該当しない	指定化学物質に該当しない

GHS分類に寄与する不純物

及び安定化添加物： 特になし

## 4.応急措置

眼に入った場合： 直ちに流水で15分以上充分洗浄し、医師の手当てを受ける。  
皮膚に付着した場合： 皮膚に触れた部分を速やかに水または石けんにて洗浄し、付着した製品を完全に洗い流す。外観に変化が見られたり、痛み・かゆみ等がある場合は直ちに医師の診察を受ける。  
吸入した場合： エマルションは水を分散媒体とした揮発性の低い水性液体で吸入の可能性は少ない。もし気分が悪くなった時は、空気の清浄な場所に移り安静にする。  
飲み込んだ場合： 直ちに医師の手当てを受ける。  
最も重要な徴候及び症状： 特になし

## 5.火災時の措置

本製品は水を多量に含む為、そのままでは引火・発火等の燃焼性はない。もし、製品乾燥物に着火した場合は次の処置をとる。

消火剤： 水、炭酸ガス、ドライケミカル等一般消火剤  
使ってはならない消火剤： 特になし  
特有の消火方法： 製品乾燥物に着火した場合は、注水・水噴霧・ドライケミカル等一般消火剤を使用し、消火作業は可能な限り風上から行う。  
消火を行う者の保護： 適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、吸気式呼吸用保護具)を着用する。

## 6.漏出時の措置

人体に対する注意事項： 出来るだけ直接皮膚に触れないようにし、保護手袋(ゴム又は樹脂製)保護眼鏡(ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプ)、長靴(ゴム製)を着用する。  
環境に対する注意事項： 万一、公共水域へ流出した場合は、必要に応じて所轄の消防署、警察署等の監督官庁へ届け出ること。  
本製品は河川・湖沼等に流入すると少量でも広範囲にわたり汚濁させる。  
河川・湖沼等公共水域及び下水への流入は絶対に避ける。

封じ込め及び浄化の

方法・機材： 漏出源を遮断し、漏れを止める。  
少量の場合、乾燥砂・オガクズ・ウエス等に吸収させ回収する。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから回収する

二次災害の防止策： 特になし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意： 容器から漏出させないようにし、保護手袋・保護眼鏡・マスクを着用する。  
室内での取扱いには換気を良くする。
- 保管上の注意： 取扱い後は、うがいを行ない石鹸で手を洗うこと。  
直射日光を避け、凍結を避けるために密閉容器で5～40℃の室内に保管する。  
容器包装材料は、製品使用の容器に準ずる。

## 8. 暴露防止措置

- 管理濃度： 設定されていない
- 許容濃度： 鉱油(アスファルト) ACGIH TWA:0.5mg/m<sup>3</sup>
- 設備対策： 使用に当たっては換気を良くする。  
換気の悪い場所で使用する場合、換気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。
- 呼吸器の保護具： 特になし
- 手の保護具： 不浸透性ゴム手袋(耐油性であることが好ましい)
- 眼の保護具： 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具： 長袖作業着、安全靴
- 適切な衛生対策： 作業中は飲食、喫煙をしない。作業後は手をよく洗う。

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 液体
- 色： 黒色
- 臭い： ラテックス臭
- 融点／凝固点： 製品 データなし  
鉱油(石油アスファルト) 113.5℃
- 沸点： 製品 100℃  
鉱油(石油アスファルト) 300℃
- 初留点： 製品 データなし  
鉱油(石油アスファルト) 350℃
- 沸騰範囲： データなし
- 引火点： 製品 データなし  
鉱油(石油アスファルト) 354℃
- 自然発火点： 製品 データなし  
鉱油(石油アスファルト) 480℃
- 分解温度： データなし
- p H： 10.5
- 動粘性率： 製品 1200mPa·s
- 溶解度： データなし
- n-オクタノール／  
水分配係数(log 値)： 製品 データなし  
鉱油(石油アスファルト) 6
- 蒸気圧： データなし
- 密度及び／又は相対密度： 製品 1.0g/cm<sup>3</sup>  
鉱油(石油アスファルト) 1.03 g/cm<sup>3</sup>

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性： 通常の保管・取扱い条件で安定。
- 反応性： 水と接触すると凝集する。
- 避けるべき条件： 加熱・高温・直射日光・氷点下
- 混触危険物質： 水禁忌物質と同一場所での保管は避ける。
- 危険有害な分解生成物： データなし

## 11.有害性情報

急性毒性：

鉛油(石油アスファルト)	5000 mg/kg以上	経口ラット (LD <sub>50</sub> )	提供会社 SDS
鉛油(石油アスファルト)	2000 mg/kg以上	経皮ウサギ (LD <sub>50</sub> )	提供会社 SDS

皮膚腐食性/刺激性： データなし

眼に対する重篤な

損傷性/刺激性： 鉛油(石油アスファルト) 溶融アスファルトから発生するガスは、呼吸器や粘膜を刺激する。

呼吸器感作性： データなし

皮膚感作性： データなし

生殖細胞変異原性： データなし

発がん性： データなし

生殖毒性： データなし

特定標的臓器毒性

(単回暴露)： データなし

特定標的臓器毒性

(反復暴露)： 鉛油(石油アスファルト) アスファルトヒュームの吸入試験(マウス)で気管浸潤、気管支炎、肺炎、繊毛損失、上皮萎縮及び皮膚肥厚が認められた。

誤えん有害性： データなし

## 12.環境影響情報

生態毒性

魚類：

スチレン・ブタジエン共重合体	100 mg以上/1-96hr	ヒメダカ (LC <sub>50</sub> )
----------------	-----------------	--------------------------

甲殻類：

スチレン・ブタジエン共重合体	1.0-10 mg/1-48hr	オオミジンコ
----------------	------------------	--------

藻類：

スチレン・ブタジエン共重合体	100 mg以上/1-72hr	
----------------	-----------------	--

残留性・分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壤中の移動性： データなし

オゾン層への有害性： データなし

他の有害性： 知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

## 13.廃棄上の注意

残余廃棄物： 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託し、関連法規・法令を遵守して、適正に処理する

汚染容器及び包装： 内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託し、関連法規・法令を遵守して、適正に処理する。

## 14.輸送上の注意

注意事項：

直射日光を避け、5~40℃で郵送する。

容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み、荷崩れ防止を確実にを行う。

国際規制

国連分類： 分類基準に該当しない

国連番号： 分類基準に該当しない

品名(国連輸送品名)： 分類基準に該当しない

容器等級： 分類基準に該当しない

海洋汚染物質： 分類基準に該当しない

国内規制： 特になし

特別の安全対策： 特になし

応急措置指針番号： なし

---

## 15.適用法令

※労働安全衛生法 表示／通知対象物質及びPRTR法は、3. 組成及び成分情報を参照願います。

〈製品〉

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

《使用成分情報》

〈鉱油(石油アスファルト)〉

労働安全衛生法第57条の2に規定される通知対象物

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Y類)

消防法第9条の4 危険物の規制に関する政令第1条の12 別表第4「指定可燃物」可燃性  
固体類

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則 特定化学物質第2類物質(アスファルト  
に含まれる硫化水素)

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則 特定化学物質第3類物質(アスファルト  
加熱時に発生する一酸化炭素)

〈スチレン・ブタジエン共重合体〉

海洋汚染防止法施行令別表第1 有害液体物質(Z類)

---

## 16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。

---